

# 研究の成果と技術力を環境展出展

## ～青木村地域自然エネルギー研究協議会～

村と村商工会、村内企業、金融機関、大学などが連携して、新たな産業や雇用創出、若いエンジニア育成などを目的に、地方創生の交付金などを活用して平成28年4月青木村地域自然エネルギー研究協議会を立ち上げ、太陽光・風力・小水力を組合せたハイブリッド（複合）な自然エネルギー発電システムの開発研究や試作品の制作を進めてきました。このプロジェクトは、鋳物業を中心とした村内企業が、コンソーシアム（企業連合）を形成し、それぞれの企業の特徴や得意分野を活かして、共通の目的を企業間で協力しあい実施するもので、小規模の法人が多い青木村に適しています。この先駆的な取組が評価され、地方創生加速化交付金（45,000千円）、地方創生推進交付金（5,000千円）の交付金を受け本プロジェクトが進められています。

これまでの研究成果について、同協議会で制作を進めてきた、自然エネルギー発電システムの試作品が、10月8日(土)～10日(祝)まで東京タワーで開催された「キッズ環境科学博士2016」に出展されました。

この環境展は、未来を担う子ども達に、自然との共生や環境に優しいエネルギーを学んでもらうことを目的に開催されました。開催された3日間で約2万人の来場者がありました。村内企業の持つ高い技術力をPRする大変良い機会となりました。

今後は、この試作品を道の駅あおき構内へ、実証実験・展示場を設置する予定です。また、同協議会の一連の研究過程を未来のエンジニアを目指す、理系の学生に開放し、後継者の育成を進める中で、プロジェクトが進められます。

出展された試作品



小水力と太陽光を組合せた試作品

研究協議会のメンバー



第2回研究協議会の模様



風力と太陽光を組合せた試作品